

没後30年

太陽の画家

利根山光人

ドン・キホーテを描く



EL SOL (太陽) 1982年 油彩
H129.0×W193.0 cm

令和6年4月2日(火)～10月25日(金)

午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

JR常磐線、新京成線松戸駅下車 東口より徒歩5分 (車でのお来場はご遠慮ください。)

利根山 光人(とねやま こうじん)

1921年－1994年

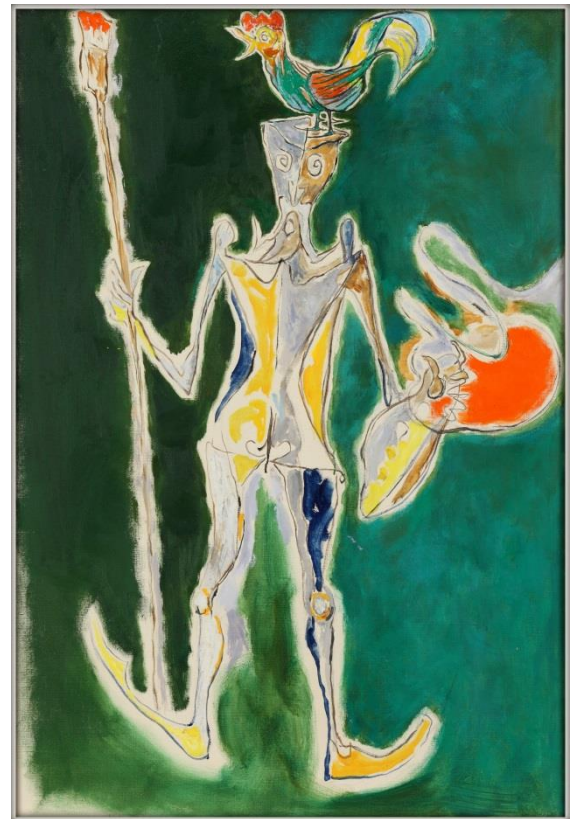
1921年、茨城県結城市生まれ。1943年、早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。1951年、第3回読売アンデパンダン展で本格的に画壇にデビュー。1955年に東京で開催されたメキシコ美術展に感動し、1959年以降しばしばメキシコを訪問。特に古代マヤ文明に大きな啓示を受け、古代文様に現代のイメージを重ねる独特の作風を鮮烈な色彩のうちに展開した。1960年、聖徳学園高等保育学校(現 聖徳大学幼児教育専門学校)の講師に着任。その後34年間にわたり、聖徳学園短期大学(現 聖徳大学短期大学部)、聖徳大学で教鞭をとられた。短期大学新校舎建築に際しては、設計や色彩計画等の企画に参画し、芸術的な教育環境づくりを目指した。その結果、学園内に魅力あふれる壁画がいたるところに設置され、「聖徳学園は壁画の園(その)」と称されるまでになった。

1981年、川並香順記念講堂の緞帳(どんちょう)により第6回吉田五十八賞を受賞。1985年、第17回日本芸術大賞を受賞。メキシコとの文化交流にも力を注ぎ、1986年にメキシコにおける最高文化勲章であるアギラ・アステカ・ブラーカ章を受章。さらに、1994年には勲四等瑞宝章を受章された。

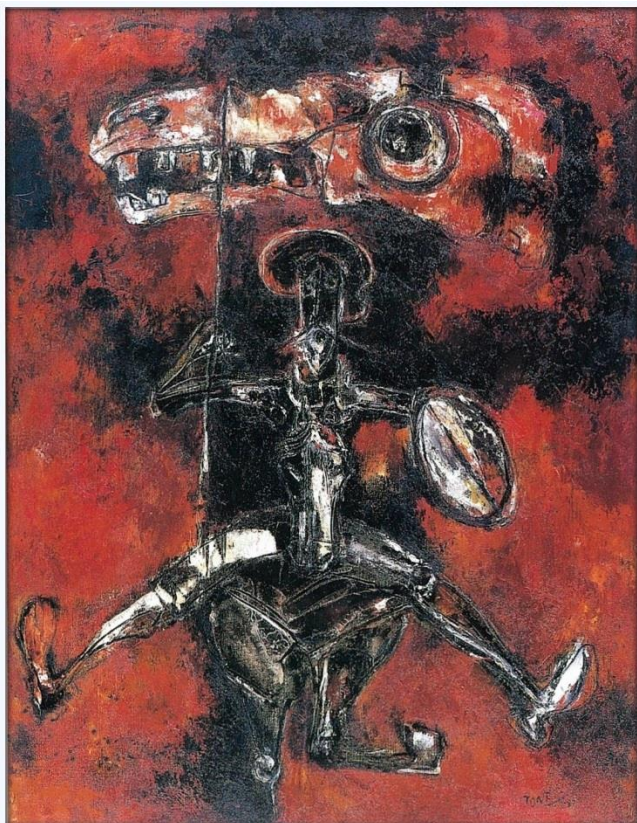
感動を全身で表現し、あふれる情熱で作品に魂をふきこむ「太陽の画家」と称されている。



『天馳せる』1988年 コラージュ H77.0×W105.5 cm



『自画像』1987年 油彩 H114.0×W78.0 cm



『ドン・キホーテ』1987年 油彩 H115.5×W89.5 cm



『炎天』1987－1992年 油彩 H30.0×W39.0 cm